

十勝川治水100年記念について

十勝川治水100年 ～ 洪水から地域を守り、地域の発展に貢献 ～



十勝川治水100年記念について

十勝川治水100年 ～ 洪水から地域を守り、地域の発展に貢献 ～

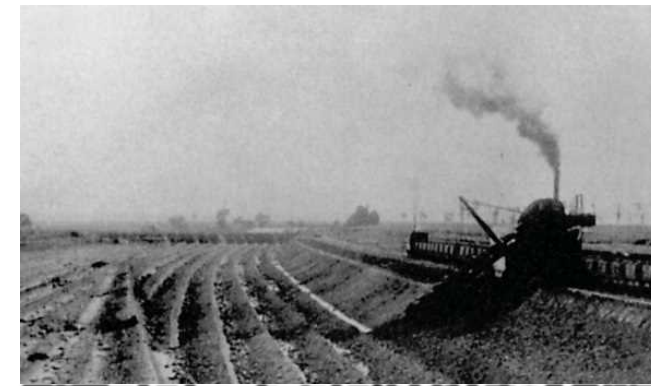
明治31年9月の全道的な大洪水を契機として、大正7年(1918)に「十勝川治水計画」が策定されました。大正11年(1922)には、未曾有の大洪水に見舞われ、その後に計画を改訂することとなりました。

当事業計画は、主に流域の中で最も被害の著しく、かつ開拓の中心地域である「茂岩から西帯広」までの延長56キロメートルにも及ぶ区間に堤防、新水路掘削、護岸工事を実施するものでした。この壮大な計画を遂行するため、大正12年(1923)十勝川治水事務所が開設され、本格的な治水事業が始まりました。

令和5年(2023)は、大正12年に本格的な治水事業が始まって100周年を迎えます。

この間、度重なる自然の猛威を受けながらも水を治めてきた先人達の努力の積み重ねにより、流域住民の生命や財産が守られ、安全・安心で豊かな生活を享受しています。

十勝川流域は、いまや我が国における代表的な食糧供給基地として成長を、我が国にとって欠かすことのできないこの生活空間の維持・発展に向けた、さらなる飛躍が期待されています。



掘削機工キスカベーターによる統内新水路の作業状況

十勝川治水100年記念の取組

先人達の遺業を讃え、流域の発展の基礎となった十勝川の治水の歴史を振り返り、治水事業の担った役割等を再認識し、十勝川流域のさらなる発展と防災意識の向上にむけて、十勝川治水100年記念事業実行委員会が計画し決定した各種取組を実施します。

主な取組:

[広報イベント] トークリレー、パネル展、写真展示リレー、出前講座等

[体験イベント] 十勝川クリーン作戦、植樹イベント、インフラツアー等

[記念イベント] 記念碑除幕式、記念式典、記念シンポジウム

構成員:

十勝川治水促進期成会、帯広建設業協会、帯広商工会議所、十勝観光連盟、十勝地区農業協同組合長会、大津漁業協同組合、十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会、帯広畜産大学、帯広信用金庫、十勝多自然ネット、十勝川中流部市民協働会議、帯広NP028サポートセンター、札内川懇談会、十勝総合振興局、帯広開発建設部

(順不同)



昭和2年頃 十勝川治水事務所前
斎藤静脩所長ほか



統内新水路 昭和12年通水

十勝川治水100年記念ロゴ



十勝川治水100年の「100」という数字の中に日高山脈十勝川～海へ流れ着くイメージと十勝の基幹産業である農業と漁業を表現したデザインです。

ゼロが重なっているのは様々なつながりをイメージしています。

帯広開発建設部HP
帯広川治水100年 QR CODE

URL

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/tis/ui/inr9av000007kvt.html>

